

〒238-0011 神奈川県横須賀市米が浜通 1-3 電話／FAX046-823-1211
<http://yokosuka.kanagawanet.jp>

● Kanagawa
nēti

横須賀市には、小学生の放課後のための事業が幾つもありますが、ところで、放課後は本来どのような時間であることが望ましいのでしょうか。

現在、横須賀市児童福祉審議会では、放課後児童対策事業計画策定検討部会が、次期（2020～2024年度）「横須賀子ども未来プラン」における放課後事業について検討を重ねています。しかし、計画案

には「放課後とは？」という基本的な考え方についての記載がなく、
 諮問内容にもそれはありません。

放課後を、安心安全を確保しつつ、子ども一人一人の自由な時間とすることが、豊かな育ちにつながると考えます。

現行の事業を俯瞰的にとらえ、真に子どものために必要な施策を展開していくべきです。

こども育成部

横須賀市の留守家庭児童は、全小学生の20%、うち半数が学童クラブを利用しています。働くお母さんが増えている今、20%とは少ないように思いますが、子どもの下校までに仕事から帰宅するなどの働き方をしている母親も少なくないことがわかります。

学童クラブについて、市は逸見小学校内に初の公設設置をするとしていますが、運営方法等はプロポーザルでの事業者からの提案任せという丸投げ状態であることは問題です。市内の全学童クラブが民設民営であり、保育料が他市と比べ高額である現状で、公設だからと低額設定をすれば混乱は必至です。

全児童対象の事業は、6校まで増やしたわいわいスクールが、学童クラブに場所を譲り3校までに減りました。が、全児童ニーズを満たすためわいわいスクールと同じ財源で放課後子ども教室を新たにスタートさせています。退職教員が学習中心のプログラムで実施しています。

学力向上については、教育委員会が学習支援員(旧学力向上サポーターティーチャー)の配置や土曜寺子屋教室を行っており、こども育成部との事業の住み分けができていません。

放課後の本来意義を児童福祉審議会で確認し、放課後ニーズを整理し、事業のあり方の方針を立てるべきです。子どもの育ちに不可欠な遊びの時間と場所の確保について、市が責任を持つて施策に反映させなければならぬと考えます。



*1 は、主たる財源等。 *2 は、今年度予算額。

—おおぜいの市民で政治を変える！ 企業団体献金も政党助成金もありません！—神奈川ネットワーク運動は、生活の中から見えてきた課題を、市民主体で解決を図る「市民社会」をめざす地域政党です。県下には26の地域ネットがあり、県・市議会に15人の女性議員がいます。会員(年会費 1,000 円)、ボランティア、カンパをお待ちしています。 —カンパ口座 神奈川ネットワーク運動・横須賀 横浜銀行横須賀支店 541-1834959—◆選挙はカンパとボランティア ◆活動費は会費と市民の寄付 ◆身近な問題はミニフォーラムで解決 ◆議員は2期8年で交替

ご相談・意見交換等、お気軽
にご参加を。(日時はHPでお
知らせ。又はお電話でお問合
せください。)